

令和3年度上半期（4月1日～9月30日）印西地区消防組合一般会計予算執行状況

1. 上半期の執行状況

令和3年度の一般会計当初予算は、32億6,543万2千円で編成され、令和2年度から令和3年度に49万5千円を繰り越しているため、予算現額は32億6,592万7千円となっています。

上半期における一般会計の歳入・歳出とその内訳や財産、地方債の状況についての詳細は、下表のとおりです。

2. 歳入の内訳

(単位：円・%)

区 分	予算現額	収入済額	収入率
分担金及び負担金	2,968,473,000	1,981,403,805	66.75
使用料及び手数料	2,037,000	2,749,858	135.00
国庫支出金	14,537,000	0	0.00
県支出金	21,950,000	0	0.00
財産収入	0	0	0.00
繰越金	20,495,000	78,862,271	384.79
諸収入	50,035,000	48,482,675	96.90
組合債	188,400,000	0	0.00
合 計	3,265,927,000	2,111,498,609	64.65

3. 歳出の内訳

(単位：円・%)

区 分	予算現額	支出済額	執行率
議会費	2,116,000	210,533	9.95
総務費	344,000	27,000	7.85
消防費	2,912,369,000	1,201,426,936	41.25
公債費	331,098,000	152,596,344	46.09
予備費	20,000,000	0	0.00
合 計	3,265,927,000	1,354,260,813	41.47

4. 財産の状況（令和3年9月末現在）

土地	19,990.33 m ²
建物	7,921.96 m ²
物品（消防車両等）	42台
基金	なし

5. 地方債の状況（令和3年9月末現在）

・地方債残高 2,316,010千円

6. 一時借入金の残高

・借入なし

令和2年度印西地区消防組合決算の概要

印西地区消防組合の令和2年度決算の概要について公表します。

1 決算規模

令和2年度の決算規模は、歳入総額は29億7,322万8千円、歳出総額は28億9,436万6千円となり、前年度との比較による増減率は、歳入5.6%の減、歳出6.7%の減となりました。

《増減の主な要因》

(歳入)

・ 分担金及び負担金

(対前年度比 △1.3% 3,590万円の減)

・ 諸収入

(対前年度比 16.6% 837万3千円の増)

・ 組合債

(対前年度比 △65.4% 1億2,630万円の減)

(歳出)

・ 人件費

(対前年度比 △1.7% 3,812万3千円の減)

・ 維持補修費

(対前年度比 △92.4% 9,266万4千円の減)

・ 普通建設事業費 (対前年度比 △36.4% 1億1,542万2千円の減)

決算規模

(単位：千円・%)

区分	歳入	増減率	歳出	増減率
令和2年度	2,973,228	△5.6	2,894,366	△6.7
令和元年度	3,150,364	△7.8	3,100,966	△7.6
平成30年度	3,415,996	1.6	3,356,384	1.3

2 決算収支

歳入決算総額から歳出決算総額を差し引いた形式収支は、7,886万2千円で前年度に対し59.6%の増となり、翌年度に繰り越すべき財源は49万5千円で前年度に対し皆増となりました。

(単位：千円・%)

区分	2年度	元年度	増減率	
			2年度	元年度
歳入歳出差引	78,862	49,398	59.6	△17.1
繰越財源	495	0	皆増	皆減
実質収支	78,367	49,398	58.6	△17.1

3 歳 入

歳入は、29億7,322万8千円で、前年度に対し1億7,713万6千円、5.6%の減となりました。

- (1) 分担金及び負担金（対前年度比 1.3%減）
義務的経費である人件費と扶助費の減によるもの。
- (2) 使用料及び手数料（対前年度比 55.9%増）
危険物規制事務関係手数料の件数の増によるもの。
- (3) 国庫支出金（対前年度比 皆減）事業実績なし。
- (4) 県支出金（対前年度比 皆増）
高規格救急自動車及び消防ポンプ自動車を整備するに当たり、消防防災施設強化事業補助金を活用したことや東京オリンピック・パラリンピックに伴う救急体制整備費の増によるもの。
- (5) 財産収入（対前年度比 皆増）
印西消防署の水槽付ポンプ自動車の売り払いによるもの。
- (6) 繰越金（対前年度比 17.1%減）
令和元年度実質収支額の減によるもの。
- (7) 諸収入（対前年度比 16.6%増）
県派遣職員負担金の還付によるもの。
- (8) 組合債（対前年度比 65.4%減）
印旛消防署修繕事業及びちば消防共同指令センター部分更新事業に係る借入額が減額したことによるもの。

歳入の内訳

(単位：千円・%)

区 分	決 算 額		構 成 比		増 減 率	
	2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度
分担金及び負担金	2,784,101	2,820,001	93.6	89.5	△ 1.3	△ 0.1
使用料及び手数料	4,768	3,058	0.2	0.1	55.9	33.2
国庫支出金	0	24,016	0.0	0.8	皆減	22.6
県支出金	8,804	0	0.3	0.0	皆増	0.0
財産収入	407	0	0.0	0.0	皆増	皆減
繰越金	49,398	59,612	1.7	1.9	△ 17.1	21.2
諸収入	58,950	50,577	2.0	1.6	16.6	729.0
組合債	66,800	193,100	2.2	6.1	△ 65.4	△ 62.4
計	2,973,228	3,150,364	100.0	100.0	△ 5.6	△ 7.8

4 歳 出

歳出は、28億9,436万6千円で、前年度に対し
2億660万円、6.7%の減となりました。

(1) 経常的経費

経常的経費は、26億9,258万1千円で前年度に対し3.3%
の減となりました。

主な要因は、消防本部及び牧の原消防署空調改修工事が完了したこ
とや人件費、物件費などが、前年度に比べ、減となったことによるも
のです。

(2) 投資的経費

投資的経費は、2億178万5千円で前年度に対し36.4%の減
となりました。

主な要因は、印旛消防署修繕事業及びちば消防共同指令センター一部
分更新事業が、前年度完了したことで減額となったことによるもので
す。

歳出の内訳

(単位：千円・%)

区 分	決 算 額		構 成 比		増 減 率	
	2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度
経常的経費	2,692,581	2,783,759	93.0	89.8	△ 3.3	3.1
義務的経費	2,481,699	2,460,456	85.8	79.3	0.9	3.1
人件費	2,185,101	2,223,224	75.5	71.7	△ 1.7	2.6
扶助費	19,635	20,040	0.7	0.6	△ 2.0	△ 5.0
公債費	276,963	217,192	9.6	7.0	27.5	8.8
物件費	155,211	172,129	5.3	5.6	△ 9.8	16.9
維持補修費	7,608	100,272	0.3	3.3	△ 92.4	5.0
補助費等	48,063	50,902	1.6	1.6	△ 5.6	△ 28.6
投資的経費	201,785	317,207	7.0	10.2	△ 36.4	△ 51.6
普通建設事業費	201,785	317,207	7.0	10.2	△ 36.4	△ 51.6
補 助	0	48,032	0.0	1.5	皆減	△ 37.2
単 独	201,785	269,175	7.0	8.7	△ 25.0	△ 53.5
計	2,894,366	3,100,966	100.0	100.0	△ 6.7	△ 7.6

5 地方債等の状況

(単位：千円・%)

地 方 債	現 在 高		増 減 率
	2年度末	2,464,161	△ 7.5
	元年度末	2,664,385	△ 0.5

(単位：千円・%)

債務負担行為	未 払 残 高		増 減 率
	2年度末	497,398	△ 14.9
	元年度末	584,672	△ 13.8

6 組合の財産（令和2年度末）

- (1) 土地及び建物については、変動ありません。
- (2) 物品については、決算年度中に白井消防署に高規格救急自動車を更新整備、牧の原消防署に消防ポンプ自動車を新規整備しました。

また、印西消防署の水槽付ポンプ自動車を売り払いしました。

土地	19,990.33 m ²
建物	7,912.96 m ²
物品（消防車両等）	42台
基金	なし

7 一時借入金の状況

借入はありません。